

MOMO MAG

Love&Peach for your everyday life.

MOMO MAG

【モモマグ】

掃除 × 馬
Cleaning
Horse



vol.6

2025.12 - 2026.1

機内からの持ち出しじご遠慮ください。 Please don't take it out.

peach

- COLUMN
- 旅からすべてがはじまった
 - まちの自慢を、聞かせてください

MOMO MAG

CONTENTS



(P04-05)

ラブミのスマートトラベル講座

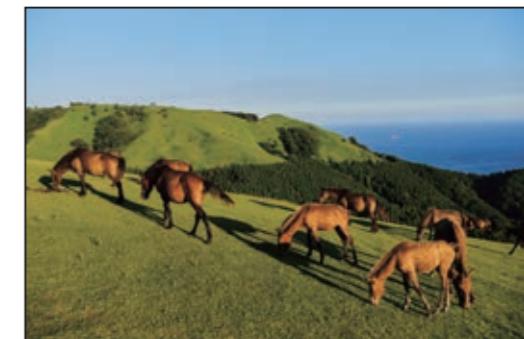
(P06-07)

SPECIAL COMICS

「ラブミとモモモ ~心までピカピカにして、新年もいい旅を！~」

(P08-15)

掃除×馬



大地と心を清める。
九州で出会う
“掃除と馬”の物語



(P16-17)

COLUMN

- Peachの舞台裏
- まちの自慢を、聞かせてください
- 旅からすべてがはじまった

(P18-21)

MOMOMAG
feature in English

(P24-25)

入国書類について



(P26)

路線図



ラブミのスマートトラベル講座

かっこよく旅する人のマナーとヒント

Smart Travel with LOVE-ME

「愛あるフライトを、すべての人に。」を目指して

A flight full of respect for everyone.



Peachにご搭乗いただき、ありがとうございます。
みなさまは今、どんな思いでこの空を旅しているでしょうか。
大切な人に会うため、久しぶりの休暇のため
——目的はさまざまでも、すべての方が心地よく過ごせるよう、
Peachでは、お客様に、思いやりのある
機内空間づくりにご協力いただいております。

お一人おひとりの小さな気づかいが、快適な空の旅につながります。
どうぞ、今日のフライトが心地よい時間となりますように。

このページでは、機内のマナーと安全対策について、
ラブミとモモモたちと一緒にわかりやすく紹介します。

Thank you for flying with Peach. As you travel through the skies, what's on your mind? Maybe you're off to see someone special, or finally heading out on a long-awaited vacation. Whatever your reason, we at Peach believe that a comfortable flight begins with kindness and cooperation from everyone on board. Even the smallest gestures of consideration from each passenger contribute to a smoother, more pleasant journey for all. We hope you enjoy your flight today. On these pages, our mascots LOVE-ME and MOMOMO will guide you through in-flight etiquette and safety tips in a fun and easy-to-understand way.

マナーを守ればみんな快適

Kindness makes the journey more comfortable for everyone.

他のお客さまにご配慮を

Please be mindful of those around you.



何かお困りのことなどありましたら、
どうぞお気軽に客室乗務員に声をおかけください。

If you need any assistance, don't hesitate to ask a cabin crew.

降機時は焦らずに

There's no need to hurry when leaving the aircraft
—thank you for exiting calmly.



何かお困りのことなどがありましたら、
どうぞお気軽に客室乗務員に声をおかけください。

If you need any assistance, don't hesitate to ask a cabin crew.

知って安心、安全のヒント

Safety Tips for a Smooth and Secure Flight

突然の揺れが起きたときには

When Experiencing Sudden Turbulence



重心を低く、
下からひじ掛けを掴もう

Lower your center of gravity and
hold the armrest from underneath.

化粧室では、手すりを掴んで
重心を低くしよう

In the restroom, use the handrail to
steady yourself and stay balanced.

お子さまの怪我を防止

Preventing Injuries to Children



座席のひじ掛けやシートベルトの金具に
手や指を挟まないように注意しよう

Watch out for little fingers—take care not to get
hands caught in armrests or seatbelt buckles.

HOW TO USE MOMOMAG

「MOMOMAG」の使い方



Peachのフライトには、
Wi-Fiもデジタルコンテンツもありません。
だからこそ、旅をもっと楽しんでいただくために、
このMOMOMAGに、自分と向き合う時間をもつ
仕掛けをご用意しました。
MOMOMAGを片手に、思いついたことを
「MOMOメモ」に書き出してみませんか？
※機内誌への書き込みはご遠慮ください！

それでは、MOMOMAGの使い方をご紹介します。

Peach flights don't offer Wi-Fi or digital entertainment.
That's why MAMOMAG is designed to help you enjoy
your journey in a different way—by giving you a chance
to pause and reflect. With your copy of MAMOMAG in
hand, take a moment to jot down your thoughts in the
“MOMO Memo” section. Let your mind wander, capture
ideas, or simply enjoy the quiet. Just a small favor—
please don't write directly in the magazine!



STEP
01
メモを開いてください
Open your memo.

STEP
02
今回の特集をよく読んで
Take your time reading this issue's feature.

STEP
03
自分だけの
「MOMOメモ」を書き残そう
Write down your own thoughts in the “MOMO Memo”.

STEP
04
飛行機を降りてからも
自分の気持ちを見つめてみよう
Revisit your reflections even after your flight.

まずはやってみよう!
Let's try!

Q. 今はどんな気持ち?

How are you feeling now?

ワクワク or しんみり

Excited or a little sentimental?

自分の気持ちと向き合って、
今どんな気持ちか考えてみよう。
Take a moment to face your feelings and
think about how you feel right now.



ラブミとモモ

～心までピカピカにして、新年もいい旅を！～

まんが／オザキエミ

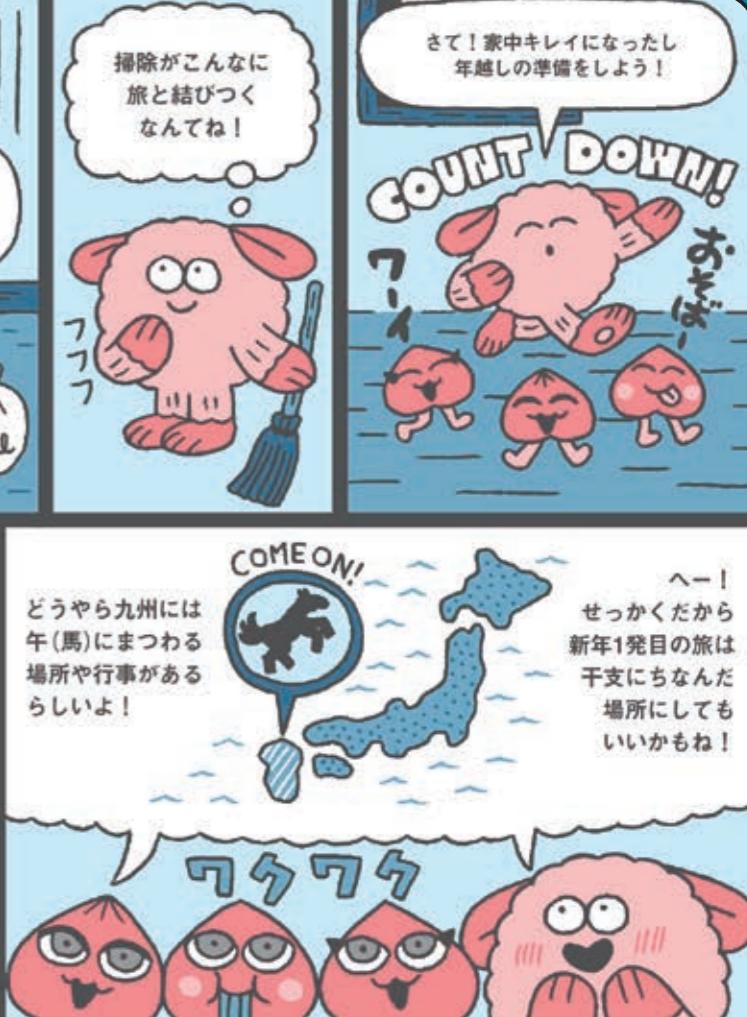
2025年もいろいろな場所に旅行してきたラブミたち一行。



残るイベントは…



すみずみまでキレイになっていくのは心も洗われるようだね



掃除 × 馬

Cleaning Horse

「大地と心を清める。
九州で出会う“掃除と馬”的物語」

「あなたにとって、掃除はどんな時間ですか？」九州を旅して出会ったのは、自然とともに生きる人々が、馬を世話し、道具を手入れし、暮らしを清める風景。日本では2026年の干支は馬(午)ですが、新たな一年を晴れ晴れとした気持ちで迎えるために、今日から掃除を習慣にしてはいかがですか？

桝野俊明さんが教えてくれた
日々をたのしむための
『掃除道』

掃除はうつくしい心と出会う旅

66

禅の教えにある「一掃除、二信心」。この言葉にあるように禅僧たちは「最初にやるべきは掃除で、信心はそれが済んでからのこと」と教えられます。禅において掃除は心を磨くための修行そのもの。禅僧が寺院内で行う日々の務めである「作務」では、事務作業、法要準備、炊事や庭の手入れといったそれぞれの役割に加え、必ず掃除を行います。朝の務めの後、昼食前、そして午後にもう一度、全員で一齊に拭き掃除や掃き掃除をします。寺院内の廊下がニスを塗ったようにうつくしく輝いているのは、何人の禅僧が横一列に並び、同じ場所を何度も拭き上げているからなのです。

禅において「心の迷いが解けて、真理を会得すること」を「悟り」といいます。「悟り」に辿り着くために日々禅僧たちは修行を重ねていますが、その中でも掃除は大切な行いの1つです。ただ心を込めて掃除をすることに集中すれば、頭の中が空っぽになって悩みや迷いが消えていきます。掃除は「悟り」への道を開いてくれる行いなのです。

99

PROFILE

桝野俊明

ますの・しゅんみょう／1953年、神奈川県生まれ。曹洞宗徳雄山建功寺住職、庭園デザイナー、多摩美術大学名誉教授。大学卒業後、大本山總持寺で修行。禅の思想と日本の伝統文化に根ざした「禅の庭」の創作活動を行い、国内外から高い評価を得る。



66

禅では、自分の心(意業)・言葉(口業)・行い(身業)を整えることを「三業を整える」といいます。掃除をしたり、人を助けたりして立ち居振る舞いを整え、次に言葉遣いを整えると、心が自然と整うのです。人間は生まれながらにうつくしく清らかな心をもっていますが、ストレスや悩みのような埃が溜まることがあります。その要因としてインターネットやSNSの情報の誘惑や、マイナスな感情を手放せない執着心が考えられます。掃除をすれば自分の心に必要なものとそうでないものを判断できるようになり、心の翳りも晴れるかもしれませんよ。

しかし、誰だって「めんどくさい」とついつい後回しにしてしまいがちな掃除。無理して頑張るのではなく、気持ちのいい一日を過ごすための毎日の習慣にするのが大切です。少しずつでも毎日掃除をすると、習慣としてからだに染み込んで無意識にできるようになります。朝早く起きて、どこか1ヵ所でもよいので掃除をしてみてください。ものをもとあった場所に戻したり、空気を入れ換えてベッドカバーを整えたり、掃除ついでに花を飾ってみる。朝の掃除を習慣にすることで、夜帰ってきてても心地よい時間を過ごせます。掃除は未来の自分へのプレゼントなんですよ。

99

部屋の掃除は、心の掃除



かつて馬は人の暮らしを支える大切な存在でしたが、その関係を保つためには必ず「掃除」が伴いました。馬小屋の掃除は重労働であり、終わりのない繰り返しです。しかしその行為こそが、人と馬との絆を深め、自らを整える時間となっていたのではないでしょうか。馬の世話をし、厩舎を掃く行為は、まさに桝野さんが教えてくれた「三業を整える」という言葉に通じます。汚れを取り除き、空間を清めることは、外の環境だけでなく自らの心に積もった埃を払うことなのです。馬の息づかいを感じながら掃除をするうちに、人は自然と心を静め、謙虚さと感謝を思い出してきたのでしょうか。

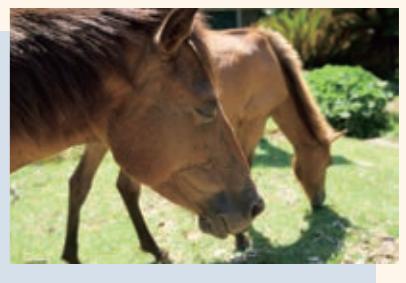
日本では2026年の干支は「午=馬」。十二支の中で7番目の動物であり、陽気なエネルギーに溢れる行動力の象徴です。風水では、午は流れや勢いを象徴し、停滞するのではなく流れをよくする行動を司るとされています。「陰」を払い「陽」を保つ馬のように、日々をよりたのしく生きていくための方法として今日から掃除を始めてみませんか？



MOMOメモ ①

Q. 最近「掃除ができない」と思うところは？

Q. 掃除以外で「心がスッキリする」習慣は？



人生を変える棕櫚箒

福岡県・うきは市で生まれる



苦手だった掃除が
たのしくなるって?



毎日の掃除が、心を磨く時間に変わる。棕櫚箒のある暮らし

禅の教えのように、私たちの身边なところでも心を整える大切な行為として「掃除」が見直されています。例えば、著名な創業者たちが掃除を人材育成の基本にしたり、掃除と経営哲学を結びつけたりと、ビジネスの世界でもたびたび話題に。これから、新しい年を清々しく迎えたいと思う今こそ、掃除という日常の営みを見つめ直す良い機会。そこで注目したいのが、昔ながらの棕櫚箒です。室内掃除といえば自動掃除機が主流の時代に、なぜ箒なのか。その理由が、福岡県・うきは市でつくられる棕櫚箒との出会いにありました。

棕櫚箒を手に取ってみると、想像以上にやわらかくしなやか。コシがあり、やさしく床

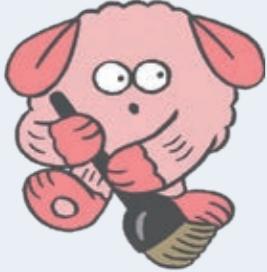
を撫でる感触も心地良い。「樹皮の繊維に油分が含まれるので、掃くことで天然のワックス効果も期待できますよ」。そう語るのは、『まごころ工房 棕櫚の郷』の職人・木下宏一さん。この優れた毛質を支えているのが、国内有数の“水のまち”として知られるうきは市の地下水といいます。地下深くから汲み上げる阿蘇山系の地下水はほぼ中性で、この水で繊維を洗浄することで毛質が格段に良くなり、独特の使い心地が生まれるそう。実際に汎用性が高く、フローリングや畳、カーペットをきれいに掃けて、天井や壁、カーテンなど、家中のあらゆる場所に対応。薬剤を使わないで小さなお子さまやペットがいる家庭も安心

して使って、騒音や排気もなく、時間帯を気にせず掃除できるのも魅力です。

「掃除機では見過ごしがちな小さなごみも、棕櫚箒なら丁寧にかき集めることができますし、自分の手で掃くことで、どれだけごみが取れたかも実感できます。自分が出したちりや埃と向き合うことは、日々の暮らしを振り返る行為になりますよね」と木下さん。掃除をただ単に汚れを取り除く作業で終わらせず、目の前の存在に意識を向けて、生活を見つめ直す行為にすること。そのまっすぐな視点が、日常の変化や自分のコンディションに気づくきっかけとなり、暮らしや人生を整える大切な時間へと変わっていくのです。



苦手だった掃除が
たのしくなるって?



毎日の掃除が、心を磨く時間に変わる。棕櫚箒のある暮らし



昔から変わらない製法で棕櫚箒づくりを行う木下さん。「うちの箒はご自宅で水洗いできますし、長く使っていただきたいので修理・メンテナンスも無料で行います」。販売会には愛用する棕櫚箒を手にリピーターが多数訪れ、そのうちの7~8割は掃除機を使わなくなったとか!



INFORMATION
まごころ工房 棕櫚の郷

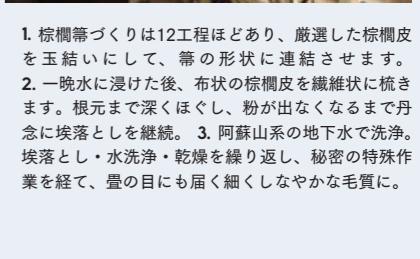
昭和初期から続く、棕櫚加工の伝統を受け継ぐ工房。現在は3代目が15種類以上の棕櫚の箒やたわしを手づくりし、全国各地で販売会も行う。●福岡県うきは市浮羽町浮羽301 ☎0943-77-2212 https://www.houkiya.jp

消耗品ではなく、一生ものの道具

木下さんによると、箒は古くから「祓う」「清める」という神聖な役割を担い、掃くことはその場をきれいにするだけでなく、心身を清める行為でもあったそうです。だからこそ日々の暮らしをうつくしく整える道具となるようにと想いを込めて、1本の箒を完成させるのに約1ヶ月かけています。

まずは材料となる棕櫚皮の繊維の束を、一つひとつ見極めながら厳しく選別。玉結いをして取り付け、繊維を糸状に梳きほぐし、埃落とし・水洗浄・乾燥の工程を何度も繰り返します。さらに門外不出の特殊作業を加えることで、他の棕櫚箒にはないやわらかさとコシが実現するのです。「妥協せず、手間ひまをかけてつくった分、畳やラグの細かな編み目のごみもかき出せますし、長く使える丈夫な箒に仕上がります」と木下さん。自宅で水洗いできる棕櫚箒は珍しく、手入れをすれば15~20年以上使えるそう。ちなみに、木下さんにとって箒は子供のような存在だと。『『うちの子（箒）は掃除が得意で働き者です』とお客様にお渡しすると、家族の一員のように大切にしてくださいます』と微笑みます。

自分の手で掃いて、きれいになった空間を見渡すときの達成感。サッサッと掃く音の心地良さ、使うほどに馴染んでいく所作。増していく箒への愛着も相まって、掃除がいつしかたのしい時間に。そして身の回りをうつくしくすることで、内面も磨かれて自然と心に余裕が生まれる。そんな日常の幸せを、1本の棕櫚箒がそっと運んできてくれることでしょう。



1. 棕櫚箒づくりは12工程ほどあり、厳選した棕櫚皮を玉結いにして、箒の形状に連続させます。
2. 一晩水に浸けた後、布状の棕櫚皮を繊維状に梳きます。根元まで深くほぐし、粉が出なくなるまで丹念に埃落としを繰り返します。
3. 阿蘇山系の地下水で洗浄。埃落とし・水洗浄・乾燥を繰り返し、秘密の特殊作業を経て、畳の目にも届く細くしなやかな毛質に。

MOMOメモ②

Q. 掃除する時間帯はいつ?
頻度はどのくらい?

Q. 1回の掃除で出るごみや
埃の量、知ってる?

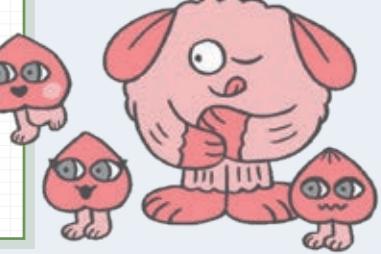


photo / Asuka Ito

野生馬とそれを見守る人々

宮崎県・都井岬で生きる



自然とともに生きることを謳歌する、御崎馬と人々の共生

馬も人も自然と生きてるんだ



宮崎県最南端の都井岬に暮らすのは、御崎馬と呼ばれる日本在来馬の一種です。1697年、高鍋藩が軍用馬を生産するために藩営牧場を設置したことが始まりで、周年放牧で管理されてきました。1953年には国の天然記念物に指定され、現在100頭前後が半野生の状態で暮らしています。体高約130cmの御崎馬は、都井岬の自然環境に適応した逞しい馬です。1頭の牡と数頭の牝とその仔馬で形成されるハーレム単位で行動し、春には可愛らしい仔馬の誕生を見ることができます。この貴重な野生馬を守り続けているのが、都井御崎牧組合の人々。年に1度の「馬追い」では健康診断を実施するなど、最小限の保護活動を続けています。

野生馬ガイドツアーを行う「おぶしょん」の世良田明呼さんは「馬たちは人間を利害関係のない存在として認識しているんです。だ

からこそ自然な行動を間近で観察できる。これは長年、餌やりをせず危害も加えないことで築かれた信頼関係の表れです」と話します。馬たちは季節とともに移動します。冬は山に入り竹や木の葉を食べ、潮風にさらされ塩分ミネラルを含んでいる岬全体の植物を食べます。荒天時は自ら森の中に避難するなど、完全に自然のリズムにしたがって生きています。彼らが生きていくことで、岬の芝の美しい景観が保たれているのです。

都井岬は、人の関与を最小限に保つつれされてきた独特的な馬文化が体感できる奇跡的な場所。地域の人々が野生馬たちを静かに見守り続けてきたおかげで、今日も青い海と緑の草原に囲まれた都井岬で、野生馬たちはあるがままにのびのびと生きています。見守る人々の眼差しには、自然への敬意と未来への責任が込められていました。

暮らしを照らす

九州の掃除と馬の風景

これまで旅してきた福岡県や鹿児島県、宮崎県。九州には、聞けば心が澄んで温まる掃除と馬の物語がありました。



さらに視野を広げてみると、九州のいたるところにまだまだ色々なトピックスが。

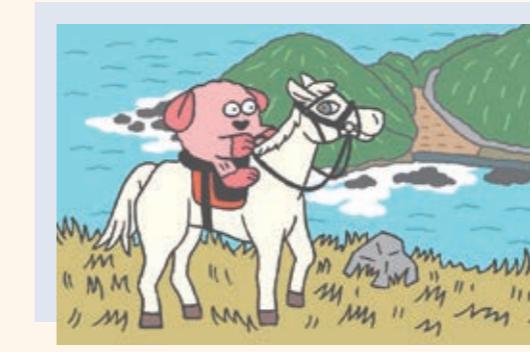
あなたの街や身の回りには、どんな取り組みがあるでしょうか。

年に1度の大掃除で
新しい年を気持ちよく
佐賀県・武雄温泉のすす払い



むかしもいまもまちに残る馬の足あと
福岡県・宗像市と馬の関係

福岡市と北九州市のあいだに位置する宗像市。そこに鎮座する宗像大社は、日本神話に登場する最古の神社の一つで、宗像三女神といわれる田心姫神・湍津姫神・市杵島姫神が祀られています。宗像三女神は歴代天皇の守護を託されており、勅使が宗像へ遣わされた記録が残っています。また、沖ノ島からは金銅製の馬具など約8万点の奉納品が出土しており、すべてが国宝に指定されています。福岡で一番大きい島・大島には、田心姫神が馬に乗って沖ノ島へ飛び渡った時にできた馬の足跡と伝えられる「馬蹄岩」もあり、養老馬委託・仔馬育成を行うカナディアンキャンプ大島牧場が、風車展望台と砲台跡を囲むように広がります。見渡す限り青い海に囲まれた自然豊かな場所で、歴史の風に吹かれながら、馬たちがのびのびと暮らしています。むかしもいまも、宗像と馬には深いつながりがあるのです。



MOMOメモ ③

Q. 身の回りをキレイに保つために心がけていることは?

Q. 午年の2026年、どんな一年にしたい?

いろんな掃除と
馬の文化があるね



Love&Peach Peachの舞台裏

| VOL.06 |

皆さまを空港でお迎えするために

すべての人に、より良い旅の提供を目指す、Peachの舞台裏に迫るこの企画。今回注目するのは、旅客ハンドリングのスタッフの訓練。お客さまにまた乗りたいと思ってもらうために、どんな訓練が行われているのでしょうか。

旅客ハンドリングの仕事って？

旅客ハンドリング業務とは、空港でのチェックイン業務や到着業務、空港内における各種情報の集約・各所への伝達を行うコントローラ業務などのこと。お客さまに安全で快適な空の旅を提供するために、とても大切な役割です。空港は、Peachとお客さまが旅の初めに出会う場所。Peachでは、お客さまの声を大切にし、

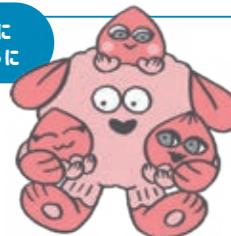
愛あるフライトを直接お届けするために、まずは関西空港国内線において、旅客ハンドリングの自社体制での提供を2025年7月1日よりスタートしました。これまで外部委託を通して提供してきた旅客ハンドリング業務を、これからは自分たちの手で直接行うことで、Peachらしいサービスを目指していきます。

どんな訓練があるの？

接客訓練と接遇訓練の2つのパートで構成される、旅客ハンドリング業務の訓練。接客が商品やサービスを提供する対応を指すのに対し、接遇はそれに加えて、お客さまを思う気持ちを重視した対応を意味します。接客訓練では、接客の五原則といわれる身だしなみ、挨拶、表情、態度、言葉遣いを正しく、細かく理解し、実践へつなげます。接遇訓練は、お客さまの気持ちに寄り添った、Peachならではのおもてなしを身につけています。例えば、旅行に慣れていないお客さまには、アプリや自動チェックイン機を使ったチェックインや荷物タグ発行機のご利用をサポートする、お手伝いが必要なお客さまには優先搭乗をご案内し、グランドスタッフから客室乗務員へ情報の引き継ぎを行なうなど、具体的なシチュエーションを想定した訓練を複合訓練施設「MOMO TRAINING LAB」で実施しています。



Peachらしい
おもてなしを目指して



「MOMO TRAINING LAB」って？

2025年7月に、関西で初めてとなる複合訓練施設「MOMO TRAINING LAB (通称: モモトレ)」を開設。モモトレには、空の安全を支えるさまざまな職種の人材育成を目的に、世界最新レベルの設備を導入しています。運航乗務員はリアリティの高い運航環境を再現したFTD (飛行訓練装置) を使った教育・研修、客室乗務員は緊急事態発生時の対応や機内サービスなどを実機の客室部分を移設した客室モックアップで実習形式の模擬訓練を実施。旅客ハンドリングスタッフは実物の空港カウンターに近い環境で実際の接客状況を想定した訓練をしたり、UD (Universal Design) 対応のスロープを用いた車いす利用者の対応訓練をしたりしています。モモトレでスタッフ自身が愛あるフライトを体験・訓練することで、運航・サービスの品質向上につなげ、お客さまに安心・安全な空の時間をお届けしていきます。

Peachの公式YouTubeチャンネルで
「Peach 新たなる挑戦 グランドスタッフ誕生の舞台裏」を公開中！



<https://www.youtube.com/watch?v=KmumsNs-Ono>

〜ここだけの話！〜 まちの自慢を、 聞かせてください

広大な自然と多様な体験、そして人。
ここでしか味わえないことがある。

「八重山群島の経済の中心となっている石垣島は、日本最南端・最西端に位置する市です。北部の平久保半島には手つかずの自然が残り、まだ知られていない魅力がたくさん。平久保半島でアクティビティ1日を過ごしてみませんか？まず、木を継ぎあわせる時に鉄釘ではなく木製のくさびと竹釘を使ってつくる伝統木造船「サバニ」に乗って石垣島が誇る大自然を堪能。久宇良地区の『吉田サバニ造船』のツアーは珊瑚礁でシュノーケリングも楽しめます。海としたら次は空。『スカイアドベンチャーラームくう』のパラグライダー体験フライトで珊瑚礁を眼下に大空を飛ぶ感動を味わってください。夜は『プライベート天体観測所・流れ星の丘』へ。世界中の天文学者からなる『ダーカスカイ（旧・国際ダーカスカイ協会）』が認定する星空保護区に選ばれた国立公園のすぐ隣に位置するので、世界最高レベルの星空を味わえます。最後は民宿『たいらファミリー』。店主の平良正吉さんが釣った地元の魚や島の食材を使った手料理とあたたかい人柄で迎えてくれます。ぜひ平久保半島で思い出に残る最高の1日を。」

CITY
No.06

石垣編

口コミサイトがたくさんあるけれど、やっぱりまちのことは地元の人に聞くのが一番。今回は、石垣島の中でもまだ知られてない魅力を秘めた平久保半島へ。綿貫さん、ここだけの話を聞かせてください！



八重山ビジターズビューロー事務局長
綿貫周平さん

吉田サバニ造船



沖縄県石垣市字平久保234-243
☎ 0980-89-2525

スカイアドベンチャー
うーまくう



沖縄県石垣市伊原間249-42明石パラワールド
☎ 080-6497-4045

プライベート天体観測所
流れ星の丘



沖縄県石垣市平久保256-234
☎ 080-6480-2445

たいらファミリー



沖縄県石垣市伊原間97
☎ 090-8291-6701

旅先で見たものや出会う人、口にしたものは、人に
インスピレーションを与えてくれます。何かが生まれ
るきっかけになった旅について、語ってもらいました。

旅からすべてがはじまった

「地球は、宇宙に浮かぶ星だ」と体感した瞬間

「星の旅」といえば、私にとっては「食」である。2012年、私は皆既日食を見るためにケアンズへと飛んだ。「ダイヤモンドリング」などの画像でおなじみの、あの神秘的な天体ショーは、「皆既日食」と呼ばれる細い帯状のエリアでしか見ることができない。故に日食ファンは皆既日食を求めて、世界各国を飛び回るのである。ただ、難しいのは「行ったからといって見えるとは限らない」点である。曇れば、見えないのである。一枚はたいて海を越えても、その瞬間に雲がかかってしまえば、すべておじゃんになる。しかしそんなギャンブルのような一瞬を追い求めて、多くの人が旅をする。実際、皆既日食を目の当たりにし、「たしかに、その価値がある」と私は思った。

肉眼で見る皆既日食は、それまで見たあらゆる映像とは似ても似つかないものだった。あれは、写真に撮れないものである。普段、地球が宇宙空間に浮かぶ星だ、ということを体感するのは難しい。皆既日食は、それを感じさせてくれる。「星の王子さま」のように、小さな星の上で宇宙に頭を突き出して生きている自分を実感できるのである。

一般に、飛行機は電車よりは不確定性が高い。天候によって欠航となるケースがよくある。しかし、こと皆既日食に関しては、飛行機は若干「不確定性が低い旅」となる。すなわち、皆既日食を機上から見る場合である。雲の上を飛ぶ飛行機に、「雲って見えない」リスクはない。2035年9月2日には、日本的一部に皆既日食帯がかかる。

PROFILE
石井ゆかりさん 編



いしい ゆかり／ライター。占いの記事やエッセイなどを執筆。独特の文体で世代を超えて人気を集め、「12星座シリーズ」(WAVE出版)は120万部を超えるベストセラーに。「星葉2026年の星占い（牡羊座～魚座）」「星ダイアリー2026」(幻冬舎コミックス)が2025年9月29日に発売。

Cleaning × Horse

"What does cleaning mean to you?" While traveling through Kyushu, I witnessed people living in harmony with nature—caring for horses, maintaining their tools, and purifying their surroundings and lives.

With 2026 being the Year of the Horse, one of the twelve animals in the oriental zodiac cycle, perhaps there's no better time to start making cleaning a daily habit, welcoming the new year with a clear and refreshed mind.

The "Way of Cleaning," as Taught by Shunmyo Masuno

Cleaning as a Path to a Beautiful Heart

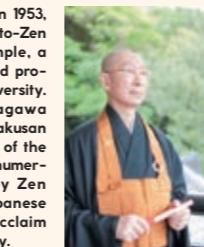
As the saying goes, "First, cleaning; second, faith." Zen monks are taught that cleaning comes first, and faith follows naturally. In Zen practice, cleaning is a way to refine the mind. Within the temple, monks' daily duties—known as samu—include clerical work, preparing memorial services, cooking, garden care, and, of course, cleaning. After morning duties, before lunch, and again in the afternoon, everyone sweeps and mops together. The reason temple corridors shine so brilliantly, as if polished with varnish, is that many monks meticulously wipe the same areas repeatedly, in unison. In Zen, enlightenment occurs when the confusion in one's mind dissolves and one realizes the truth. Daily practice, including cleaning, is essential in this pursuit. By focusing wholeheartedly on cleaning, the mind clears, and worries and confusion fade away. In this way, cleaning becomes not just an act of tidying but a path toward clarity and enlightenment.

99

PROFILE

Shunmyo Masuno

Born in Kanagawa Prefecture in 1953, Masuno is the chief priest of Soto-Zen Tokyu-san Kenkohji Zen Temple, a renowned garden designer, and professor emeritus of Tama Art University. After graduating from Tamagawa University, he trained at Shogakusan Sojiji Temple, the head temple of the Soto Zen sect. He has created numerous Zen Gardens inspired by Zen philosophy and traditional Japanese culture, earning widespread acclaim both in Japan and internationally.



Cleaning Your Room Is Clearing Your Mind

In Zen, there is a concept called "aligning the three actions (sango)," which refers to bringing your mind, words, and deeds into harmony. One way to achieve this is through cleaning: by moving your body, organizing your surroundings, and helping others, your behavior begins to align. Adjusting your speech—how you speak to yourself and others—then naturally follows, and your mind becomes calmer and more focused. We are born with hearts that are pure and beautiful, yet over time dust accumulates—stress, worries, and distractions from the endless flow of information on the internet or social media, or even our own attachment to negativity. Cleaning offers a way to sift through this clutter, helping you see what truly matters and letting go of what does not. Still, cleaning often feels like a burden, and it's easy to procrastinate. The key is not to force it, but to make it a gentle daily habit that brings ease and calm. Small, consistent actions—tidying one corner, putting items back in their place, opening a window to let in fresh air, straightening the bed, or arranging flowers—gradually become second nature. Starting your day with these small rituals can transform cleaning into a source of refreshment, so that when you return home at night, you feel lighter and renewed. In essence, cleaning is more than tidying your space—it is a simple gift you offer to your future self.

99



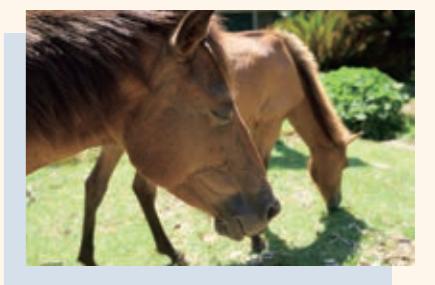
Horses once played an essential role in human life, but maintaining that bond always required effort and cleaning. Tending to stables was hard, repetitive work. Yet it was precisely through this practice that the connection between humans and horses deepened, offering moments of reflection and self-care. Caring for horses and sweeping their stables embodies what Masuno teaches as "aligning the three actions (sango)." By removing dirt and purifying the space, we clear not only the dust of the external world but also the clutter within our own hearts. Perhaps listening to the gentle breathing of a horse while cleaning naturally calms the mind, fostering humility and gratitude. In Japan, 2026 marks the Year of the Horse, the seventh in the twelve-year oriental zodiac cycle. It represents cheerful energy and a proactive spirit. In Feng Shui, the horse also embodies flow and momentum, encouraging actions that keep energy moving rather than letting it stagnate. Just as the horse dispels yin and encourages yang, why not begin cleaning today as a way to live each day more joyfully?



MOMO memo ①

- Q. What areas do you feel you haven't had a chance to clean recently?
- Q. Besides cleaning, what habits help you clear your mind?

Take joy in cleaning,
and discover your
true beauty!





Love&Peach

Peachの舞台裏

Behind the Scenes at Peach

COLUMN

| VOL.06 |

Welcoming You at the Airport

In this column, you're invited to take a behind-the-scenes look at Peach, the airline committed to improving the travel experience for all. This time, we focus on the training of passenger handling staff. What kind of training ensures that customers want to fly with Peach again?

What Does Passenger Handling Involve?

Passenger handling operations includes tasks such as check-in and arrival procedures at the airport, as well as coordinating and sharing information with other airport staff. It is a critical role in ensuring passengers enjoy a safe and comfortable travel experience. The airport is where Peach first meets our customers at the start of their journey, making this interaction especially important.

To prioritize customer feedback and deliver flights with care, Peach began providing in-house passenger handling services on domestic routes at Kansai Airport starting July 1, 2025. Previously, these services were outsourced. By managing them directly, Peach aims to offer a uniquely Peach experience that reflects the company's dedication to hospitality and service.

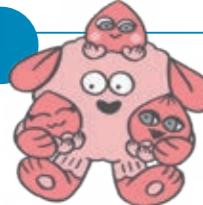
What Kind of Training Is Provided?

Training for passenger handling at Peach consists of two main components: customer service training and hospitality training. While customer service focuses on providing products and services, hospitality emphasizes care and attention in addition to service. Customer service training teaches staff to understand and practice the five key principles: appearance, greetings, facial expressions, attitude, and language. The goal for the hospitality training is to foster a customer-centered approach and familiarize staff with Peach's distinctive service style. For instance, when a passenger is unfamiliar with travel procedures, staff assist them with app or self-service check-in, or help operate the baggage tag issuing machine. For passengers who need extra support, priority boarding is provided, and staff ensure that important information is communicated from passenger service personnel to cabin crew. These scenario-based trainings are conducted at the integrated training facility, Momo Training Lab.



Wishing you
a great trip!

Aiming for Peach-Style Hospitality



At Peach, air travel is more than just transportation; it's an experience to be remembered. That's why hospitality training begins with the basics. Staff are encouraged to reflect on questions such as "Why do we greet customers?" and "Why do we smile?" Once they understand the purpose, they put it into practice in the field. Because passenger handling involves close contact with customers, Peach has created a system to collect and apply feedback, continually improving the service experience. The goal is to provide hospitality that leaves passengers feeling genuinely cared for and warmly welcomed.

**"Peach's New Challenge:
Behind the Scenes of the Birth of Ground Staff"** is
now available on Peach's official YouTube channel!



[https://www.youtube.com/
watch?v=KmumsNs-ONO](https://www.youtube.com/watch?v=KmumsNs-ONO)

What Is "MOMO TRAINING LAB"?

In July 2025, Peach opened the Kansai region's first comprehensive training facility, Momo Training Lab—commonly known as MOMOTORE—inside Kansai Airport Terminal 2. Equipped with the world's most advanced training technology, MOMOTORE is designed to develop talent across a variety of roles that support aviation safety. Pilots train using a Flight Training Device (FTD) that recreates a highly realistic flight environment. Cabin crew receive hands-on training in emergency response and in-flight service within a mock-up cabin modeled after a real aircraft. Passenger handling staff practice in a simulated airport counter environment and learn to assist wheelchair users using a Universal Design (UD) ramp. By experiencing and training for every aspect of flight with care and attention at MOMOTORE, staff enhance the quality of operations and services, ensuring customers enjoy a safe and secure flight experience.

~~~~ Just Between Us! ~~~~

まちの自慢を、 聞かせてください

Share What Makes Your Town Special

Vast nature, unique experiences, and warm people. Discover moments and experiences you can only find here.

"Ishigaki Island, the economic center of the Yaeyama Islands, lies at Japan's southernmost and westernmost tip. The Hirakubo Peninsula, in the north, remains largely untouched and full of hidden charms. Why not spend an active, unforgettable day there? Start with the sea: explore the island's natural beauty aboard a sabani boat, a traditional wooden vessel held together with wooden wedges and bamboo nails instead of iron. Yoshida SABANI in the Kuura district offers tours that include snorkeling among vibrant coral reefs. Then, take to the skies. Enjoy the thrill of paragliding over the coral reefs with Sky adventure WOOMACOO, taking in breathtaking views as you soar above the island. As night falls, head to the private astronomical observatory, Nagareboshi no Oka, located next to a national park designated an International DarkSky Place by DarkSky (formerly the International Dark-Sky Association). Here, you can experience some of the world's most spectacular night skies. Finally, rest and recharge at the guesthouse Taira Family, where owner Masayoshi Taira welcomes guests with warm hospitality and home-cooked meals featuring locally caught fish and island ingredients. Spend a day on the Hirakubo Peninsula, and you'll leave with unforgettable memories."

CITY
No.06

Ishigaki



Executive Director
Yaeyama Visitors Bureau
Mr. Shuhei Watanuki

Yoshida SABANI
shipbuilding



234-243 Hirakubo, Ishigaki City, Okinawa
☎ 0980-89-2525

Sky adventure
WOOMACOO



Akashi Para World 249-42 Ibaruma, Ishigaki City, Okinawa
☎ 080-6497-4045

Private astronomical observatory,
Nagareboshi no Oka



256-234 Hirakubo, Ishigaki City, Okinawa
☎ 080-6480-2445

Taira Family



97 Ibaruma, Ishigaki City, Okinawa
☎ 090-8291-6701

It All Started with a Trip

旅からすべてがはじまった

The sights, people, and flavors you experience on your travels can spark ideas and inspire new creations. We asked Ms. Ishii about the journey that inspired her latest work.

The Moment I Realized the Earth Was a Star Floating in Space

For me, "star travel" has always meant chasing eclipses. In 2012, I flew to Cairns to witness a total solar eclipse. This mysterious celestial spectacle—familiar from images like the "Diamond Ring"—can only be seen along a narrow path known as the "eclipse zone." Because of this, eclipse enthusiasts travel around the world in pursuit of the fleeting event. The challenge, however, is that there's never a guarantee you'll see it. If it's cloudy, it's gone. Even if you spend a fortune crossing oceans, a single cloud at the crucial moment renders it all for nothing. Yet, many chase this gamble, and witnessing a total solar eclipse with my own eyes made me realize it is absolutely worth it. Nothing compares to

seeing it in person. The experience cannot be fully captured in a photograph; it's difficult to convey the reality that our Earth is a small star floating in space. A total solar eclipse allows you to feel it viscerally. Like *The Little Prince*, you suddenly understand what it's like to live on a tiny planet with your head poking out into the vastness of space. In general, airplanes are less predictable than trains, with flights often canceled due to weather. But for total solar eclipses, planes can reduce that uncertainty. Viewing an eclipse from the air means flying above the clouds, removing the risk of an obscured view. On September 2, 2035, a total eclipse zone will be visible over parts of Japan.

PROFILE
Ms.Ishii Yukari



Yukari Ishii is a writer known for her horoscopes and essays. Her distinctive style has earned her fans across generations. Her *12 SIGNS OF THE ZODIAC Series* (WAVE Publisher) has sold over 1.2 million copies, making her a bestseller. Her upcoming works, *Hoshiori 2026-nen no Hoshuranai* (Aries - Pisces) and *Stellar Diary 2026* (Gentosha Comics), was released on September 29, 2025.

Peachの
機内誌

MOMOMAG [モモマグ]

実はウェブでも読めます。

MOMOMAG is actually available to read online.



旅のヒント、ちょっと変わった視点、編集部の偏愛がつまったMOMOMAG。

これまでのバックナンバーをPeachのウェブサイトで公開中！気になる特集を、いつでもどこでも読み返せます。

Travel tips, quirky perspectives, and our editorial obsessions—
MOMOMAG is now available online! Explore past issues anytime, anywhere.

vol.1–5 好評配信中！ All 5 volumes now online!



vol.1
温度×
団らん
Temperature
and
Togetherness



vol.2
笑い×
台所
Laughter
and
Food



vol.3
美×
スパイス
Beauty
and Spice



vol.4
ハレの日×
お茶
“Hare” Days
and Tea



vol.5
実り×
おしゃれ
Fruitfulness
and
Fashionable



飛行機を降りたら「MOMOMAG」で検索
Search for "MOMOMAG" on the Peach official website

<https://www.flypeach.com/>

Search

INFORMATION

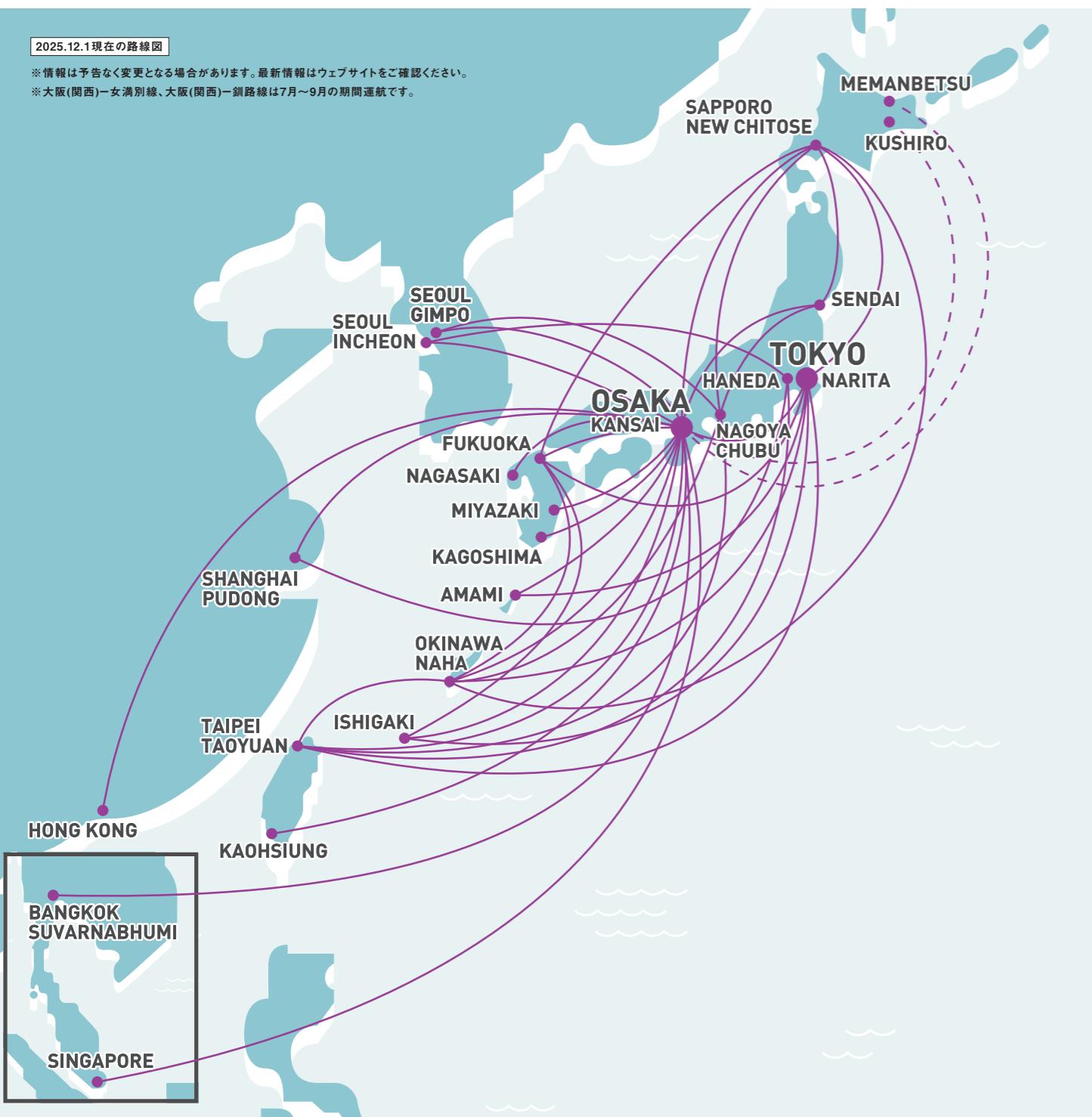
MOMO MAG

路線図

Peachは現在、国内線25路線、国際線15路線に就航しています。今後も、日本各地そしてアジアを結ぶエアラインとしてもっと気軽にご旅行を楽しんでいただけるよう路線をさらに拡大していきます。

2025.12.1現在の路線図

※情報は予告なく変更となる場合があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。
※大阪(関西)→女満別線、大阪(関西)→釧路線は7月~9月の期間運航です。



STAFF

2025年12月発行

発行人
大橋一成

発行
Peach Aviation 株式会社

Editors

Rio Hirai (FIUME, Inc.)
Foo Shoji (FIUME, Inc.)
Akari Kato (FIUME, Inc.)

Art Director
Hikari Taguchi

Illustrator

Emi Ozaki
Translators
Maiko Shimokawa

Art Director
Hikari Taguchi

Producers

Yoshihiko Todaka (MAGAZINE HOUSE CO. LTD.)
Yuki Tadano (MAGAZINE HOUSE CO. LTD.)

Planning & production
MAGAZINE HOUSE CREATIVE STUDIO
Printer
Chiyoda Print Media Corporation

※本誌内の掲載記事・写真・イラストの無断転載・コピーを禁じます。※本誌内の情報やデータは発行日現在のものです。※本誌に掲載の価格は、特別な記載がある場合を除き、税込みです。
Unauthorized copying of articles, photos, and illustrations is prohibited. / All information is as of the date of publication. / All prices listed include tax, unless otherwise indicated.

MOMO MAG